

「めひかり茶漬け、商標登録

JR泉駅「酒縁てる」のメニュー 前・居酒屋「箱崎さん」の魚PR、うまさ伝える

元漁師の箱崎さん

元漁師が昨年5月、JR泉駅前オープンさせた居酒屋「酒縁てる」の看板メニューのひとつ、前浜で水揚げされた新鮮なメヒカリの天日干しを使ったお茶漬けが、常連客を中心に話題を呼んでいる。今年1月には、メニューを「酒縁てる めひかり茶漬け」として商標登録。店主の箱崎義典さん(57)は「小名浜岡小名」は「多くの人にいわき前浜、常磐もの」の魚の美味(おい)しさを伝えたい」と、いまだ風評被害で苦しんでいる沿岸漁業を、消費者に直結した店側から後押しする。



箱崎さんは中之作の漁 海星高専攻科を修了後、遠洋マグロはえ縄漁船の師の家に生まれ、いわき 念願の漁師に。その後、乗組員、船長として長らく活躍した

後、次第に前浜の魚の魅力に惹かれていく。それまでの経験や人脈を生かして新鮮な前浜の魚を仕入れ、店では大好きな県内の銘酒とともに旬の刺し身や煮魚、揚げ物を提供していく中、幼少から親しんできたヤナ

人気を呼んでい る「めひかり茶漬け」



ヒカレイのお茶漬けをメリの頭と尾を落として開き、4時間ほど天日干しして提供したところ、予想以上の反響があった。ヤナギはあまり食べるとこがないと不評だったが、盛り上げたい一心で商標登録し、2月にフェイスブックの公式ページで紹介すると、人気さらにも爆発して品薄になる事態に。夫妻はうれし悲鳴を上げています。

約30年勤めた水産加工、流通などをを行う地元の会社を退職後、県漁運動務をへて「多くの人にいわきの魚を味わってほしい」と、昨年5月、妻の晃世さん(43)とともにJR泉駅前に居酒屋をオープンさせた。

中岡町地内の事故根絶目指す

月山下町内会など官民一体で啓発

中岡町地内の交通事故

同町内会は先ごろ、同町の交通安全の環境が整ったことを踏まえ、同町内

会と同運動を実施。相葉

文が書かれたのぼり旗を掲げ、ドライバーに安全運転を訴えながら、交通安全グッズなどを手渡した。このほか、登校中の児童、生徒への朝

三種郵便物認可) 山下町内会(相葉賢治区長)は7日朝、中岡町四丁目の三幸路で、交通安



Table with 2 columns: 結果 (Result) and 水 (Water). The table contains numerical data for various categories.